

常任委員会の審査

本会議から付託された議案の審査の主な内容は次のとおりです。

総務企画

市長専決処分の報告と承認について（平成25年度渋川市一般会計補正予算（第6号））

除雪費用のため道路維持管理事業の委託費を増額補正するもので、全会一致で可決されました。

権利の放棄について

債務者の破産により、債権の回収が困難なため土地貸付料を放棄するもので、全会一致で可決されました。
市長及び副市長の給与及び旅費支給条例の一部を改正する条例

市長及び副市長の期末手当について、市長においては30割、副市長においては20割の減額を行うための改正をするもので、全会一致で可決されました。



記録的豪雪

市民経済

市民経済常任委員会の付託議案は権利の放棄2件、消費税法の改正に伴う条例改正10件、渋川市小口資金融資促進条例の一部改正1件が審査されました。
権利の放棄について

渋川市営駐車場使用料が2件、合計61カ月分38万8000円が放棄されました。

質疑 債権徴収はどのような方法で行ったのか。これだけの額になった経過は。

答弁 合併前は、個別訪問を実施していました。毎月入湯税と合わせて訪問徴収していました。月ごとに少しずつ納めていたので、契約解除が遅れました。

質疑 契約解除に至るまでの経過と基準は。

答弁 特に基準というものはありませんが、条例では使用料を納期限までに納付しないとときというのがあります。通常であれば1年で切るという処理をしています。

渋川総合病院入院費54件、外来143件についての使用料・手数料が回収不能につき約675万円が放棄されました。

質疑 入院時の連帯保証人が、28人の入院患者にはいない。その理由は。回収不能に陥った理由は。

答弁 連帯保証人は、規定

上ではつけることになっていますが、救急治療で入院してくる場合や生活困窮などにより連帯保証人がつけられていません。回収不能の理由は、住所不明や生活困窮者などによるものです。

質疑 市の補助を受ける場合は市税の滞納がないことが条件になっているが、病院はどうなのか。

答弁 医師に応召義務があり、診療費が払えないという理由で拒むことはできません。



渋川総合病院受付

委員からは、回収不能に陥る前に回収する努力をするべき、生活困窮者に対しては、ソーシャルワーカー等に相談をして生活保護など手続きをしながら不良債権を少なくしていくことが大切であることを提言し、全会一致で可決されました。

小口資金融資促進条例の一部改正について

平成26年度も1年間期限が延長され、全会一致で可決されました。

消費税8割の引き上げによる影響で、スカイテルメ、伊香保温泉浴場（石段の湯）、小野上温泉センター、白井温泉こもちの湯、北楯温泉ばんどうの湯、交流促進センターSUNおのがみ、たちばなの郷城山の条例改正が示され、入浴料金や宿泊料金等の渋川市の統一料金の考え方などが審査され、賛成多数で可決されました。伊香保ロープウェイ条例改正も含め、4月1日から料金改定が行われます。

建設水道

本委員会には市道の廃止と認定、権利の放棄、条例改正、和解及び損害賠償の額を定めることについて、9議案が付託され、審査を行いました。

市道の廃止と認定について

行幸田調整池付近と豊秋団地付近4064坪を、団体営基盤整備促進事業行幸田北部地区によるものと、赤城町敷島駅北東付近230坪を、一般県道下久屋渋川線バイパス事業によるものとし、全会一致で可決されました。

権利の放棄について

簡易水道料金は67件387カ月分で170万127円、水道料金は1004件3784カ月分で2544万9475円を、債権の適正な管理を図るため放棄しようとするものです。なぜ今回この金額・件数で議案上程されたのか、回収計画の確認と民間業者による徴収業務委託の現状、徴収実績、未払いの食い止め方法

等、質疑は多岐にわたりました。今後の給水と回収について再検討し、善処していくことを要望し、全会一致で可決されました。



下水道条例・汚水処理施設

条例・農業集落排水処理施設条例・個別処理浄化槽条例

4件の各条例の一部改正は、平成26年4月1日からの消費税法改正による所要の改正をするもので、全会一致で可決されました。

和解及び損害賠償の額を定めることについて

昨年9月3日に市道手川大平線にて、伊香保総合支所経済建設課職員運転の公用車と、行幸田在住市民が

運転する車の事故について、すべての過失が市職員側にあるとの説明に、センターラインのない道路で、右前方同士の衝突で、なぜ相手に過失がないと言えるのかなど、過失割合に対し疑問視され、職員の負傷についての処理や、業務中に起きた事故の刑事処分などについて議論されました。全会一致で可決されました。

教育福祉

財産の取得について

新設する学校給食共同調理場で作る給食の食器、自動洗浄機、備品などすべてを買い替えるものです。今までのものは、災害時に備え対応など意見が出され、全会一致で可決されました。

権利の放棄について

学校給食費を放棄するものです。滞納・不納件数が多すぎる、債務者が知らない時効もある、児童手当と相殺するなど時効になる前に職員の徴収努力がさらに必要などの意見がありました。

た。全会一致で可決されました。



徳富蘆花記念文学館駐車場使用料の権利の放棄

権利を放棄する金額は5万7000円で、全会一致で可決されました。

社会教育委員設置条例の一部を改正する条例

教育法の一部改正に伴うもので、全会一致で可決されました。

青少年問題協議会条例の一部を改正する条例

役職の中で市長だけを会長条項で残し、他を削るのはおかしいなどの意見がありました。多数決で可決さ

れました。
体育施設条例の一部を改正する条例

公の施設から子持のプールを削り公用財産から公共財産として残すという内容で、全会一致で可決されました。

歴史資料館条例及び渋川美術館・桑原巨守彫刻美術館条例の一部を改正する条例
入館料の統一をするものです。入館者が増えないのに上げるのはいかがかなどの意見があり、多数決で修正可決されました。

社会福祉センター条例

全会一致で可決されました。

指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例

全会一致で可決されました。

「手話言語法制定を求める意見書」の提出を求める請願書

願意妥当と認め、採択され、意見書を提出することになりました。